「生誕150年　寺松国太郎」出品目録

期間：2026年10月10日（土）～2027年1月24日（日）

展示場所	作品名	作者名	形状	材質技法	制作年	備考
刀陶の間	千古の夢（複製）	河原修平				
刀陶の間	円筒埴輪 伝岡山市浦尾古墳群出土				古墳時代初期 4世紀	
刀陶の間	円筒埴輪 伝岡山市浦尾古墳群出土 上記埴輪に伴って出土したもの				古墳時代初期 4世紀	
刀陶の間	弥生大壺 伝倉敷市酒津地区高梁川流域河 床出土				弥生時代末期 3世紀	
刀陶の間	上古刀 伝総社市三須の古墳より出土				古墳時代　6世紀	
刀陶の間	鉄戈 伝広島県福山市東深津町の古墳 より出土				古墳時代　6世紀	
刀陶の間	土師器　甕 伝倉敷市酒津地区高梁川流域河 床出土				弥生末～古墳時代 3世紀	
刀陶の間	土師器（手焙り形） 伝倉敷市酒津地区高梁川流域河 床出土				弥生末～古墳時代 3世紀	
刀陶の間	弥生土器　鉢 伝倉敷市酒津地区高梁川流域河 床出土				弥生時代末期 3世紀	
刀陶の間	備前　大甕				南北朝～ 室町時代初期	
刀陶の間	備前　四耳葉茶壺				南北朝～室町時代	
刀陶の間	備前　擂鉢 水の子岩海底遺跡出土				室町時代初期	
刀陶の間	備前 緋襷 中皿				桃山時代	
刀陶の間	太刀　銘　備中国水田住山城大 掾大月又七源国重				宝永3年（1706）	
刀陶の間	備前　玉垂れ大壺				室町時代末期	
刀陶の間	備前半月手鉢				桃山時代	
刀陶の間	備前　砂金袋水指				桃山時代	
刀陶の間	備前　黄胡麻茶碗				桃山時代	
刀陶の間	備前　花生				桃山時代	

刀陶の間	青備前　鶉香炉				江戸時代中期	
刀陶の間	白備前　鶉香炉				江戸時代中期	
刀陶の間	白備前　牛香炉				江戸時代中期	
刀陶の間	青備前　苫舟香炉				明治時代	
刀陶の間	閑谷焼　牡丹獅子香炉	三村陶景				
刀陶の間	雉香炉				江戸時代中期	
茶室	老梅小禽之図銀屏風	寺松国太郎	二曲一隻屏風	紙本着色	制作年不詳	展示期間10.10～18
茶室	芭蕉之図銀屏風	寺松国太郎	二曲一隻屏風	紙本着色	制作年不詳	展示期間10.10～18
きび美ホール	天女	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	大正11年（1923）	
きび美ホール	裸婦	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	大正7年頃（c.1918）	
きび美ホール	食後	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	明治42年（1909）	
きび美ホール	牛と女	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	明治35年（1902）	
きび美ホール	釣人	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	明治末期（岡山期）	前期展示
きび美ホール	舞台姿（T婦人像）	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	大正6年（1917）	後期展示
きび美ホール	寺松遺品　浅井忠写真、黙語会ハガキ				明治末期	
きび美ホール	寺松国太郎宛　中澤岩太、芝千秋、伊藤快彦　年賀状				明治43年（1910）	
きび美ホール	寺松国太郎宛　万代常閑、守時喜三郎（鹿太郎）年賀状				万代ハガキ：明治42年 守時ハガキ：明治末期	
きび美ホール	守時喜三郎（鹿太郎）コマ絵	守時喜三郎			明治末期	
有彩の間	肖像	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	明治43年（1910）	
有彩の間	明治之美妓（「化粧部屋」習作」）	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	明治44年（1911）	
有彩の間	思案のひととき	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	明治44年（1911）	前期展示
有彩の間	滝に立つ裸婦	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	昭和13年（1938）	後期展示

有彩の間	琵琶を持てる女	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	大正15/昭和元年頃（c.1926）	
有彩の間	寺松国太郎肖像	箕浦照	額装	油彩、カンバス	昭和18年（1943）	
有彩の間	デッサン・裸婦	寺松国太郎	額装	鉛筆、紙	明治39年（1906）	前期展示
有彩の間	デッサン・車夫の図	寺松国太郎	額装	鉛筆、紙	明治末期	後期展示
有彩の間	比良暮雪	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	大正4年（1915）	
有彩の間	梅之精	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	昭和期	
有彩の間	雨後	寺松国太郎	額装	油彩、カンバス	昭和16年（1941）	
有彩の間	寺松国太郎遺品　印					
有彩の間	自画像	寺松国太郎	ハガキ	水彩、紙		
有彩の間	小林岐陽館図案	寺松国太郎		インク、紙		
有彩の間	閑谷学校、西大寺スケッチ（複製）	原本：寺松国太郎			明治末期	
有彩の間	Querer es poder （望めば叶う）	川埜龍三		備前焼	2020-21	
有彩の間	Cada persona es un mundo （誰もが世界を持っている）	川埜龍三		備前焼	2020-21	
有彩の間	涙とともに消えないものは、 ため息とともに消え去る	川埜龍三		備前焼	2014	
翰墨の間	白龍図	寺松国太郎	軸装	絹本墨画淡彩	昭和15年（1940）	
翰墨の間	鍾馗之図	寺松国太郎	軸装	絹本着色	大正11年（1922）	
翰墨の間	十六羅漢	寺松国太郎	軸装	紙本着色		
翰墨の間	梅下の酒宴	寺松国太郎	六曲一隻屏風	金地着色		前期展示
翰墨の間	芙蓉峰の図	寺松国太郎	六曲一隻屏風	金地着色	大正11年（1922）	後期展示
翰墨の間	加代の像	田村宗立	額装	油彩、紙、カンバス	明治12年頃（c.1879）	

翰墨の間	観音図	田村宗立	軸装	絹本着色	大正7年（1918）	
翰墨の間	松籟渓韻之図	寺松国太郎	軸装	紙本着色	昭和18年（1943）	
翰墨の間	豪渓真景	寺松国太郎	軸装	紙本墨画	昭和5年（1930）	
翰墨の間	夏山雲烟	寺松国太郎	軸装	絹本着色		前期展示
翰墨の間	武陵之春	寺松国太郎	軸装	絹本淡彩		後期展示
翰墨の間	夢	寺松国太郎・ 円山要宗合作	軸装	絹本着色		個人蔵
翰墨の間	祝餅之図	田村宗立・寺 松国太郎合作	軸装	紙本淡彩	大正5年（1916）	
小窓ギャラリー	備前　獅子香炉				江戸時代	
小窓ギャラリー	備前　騎亀寿老人	藤原陶斎				
小窓ギャラリー	備前　桃形香合				明治～ 昭和時代初期	
小窓ギャラリー	備前　ござる香合	初代小西陶古			明治～ 昭和時代初期	
小窓ギャラリー	備前　雉香合				江戸時代後期	
小窓ギャラリー	備前　犬香合	春湖窯			昭和時代	
小窓ギャラリー	備前張子戌寅香合	浦上善次				
小窓ギャラリー	備前　緋襷肩衝茶入	金重陶陽				
小窓ギャラリー	備前　扁壺	宮尾昌宏			2014	
小窓ギャラリー	備前　小壺	多久守			2016	
小窓ギャラリー	備前　徳利・酒呑	山下有仁			2011	
小窓ギャラリー	備前　茶碗	大澤恒夫			2016	
小窓ギャラリー	備前　緋襷徳利	大澤恒夫			2012	
小窓ギャラリー	home (RT-09)	川埜龍三				